



【山陰インバウンドニュース4月号】

2020年4月16日

(一社)山陰インバウンド機構

令和2年度事業概要

今回のニュースレターでは、令和2年度「訪日外国人旅行者周遊促進事業」補助制度を活用し、当機構が実施を予定している事業概要を中心に配信します。

この制度は、観光庁が、日本版DMO法人を対象に、訪日外国人旅行者等の来訪や滞在を促進することにより、地域の活性化を図ることを目的に実施されている助成制度です。

当機構でもこの制度を積極的に活用し、外国人観光客が訪日する際の玄関口（ゲートウェイ）となる、米子鬼太郎空港をはじめ、首都圏や、関西・山陽方面から山陰への誘客対策を積極的に進めていくこととしています。

また、中国エリア～関西エリアまで訪日客が広域に周遊しやすくなるようなプラットフォームシステムを構築し、その一環として山陰への立ち寄り機会を、より増やす取組みを進めることとしています。

インバウンド観光に積極的に取り組む事業者に対しては、今後の山陰インバウンド観光の担い手として活躍してもらうための支援についても強化することとしています。

新型コロナウイルスの感染拡大により国内外の観光産業は大きな打撃を受けていますが、収束後の反転攻勢に向けて、こうしたインバウンド観光関連事業に着実に取り組むことにより、訪日外国人旅行者による交流人口を拡大させるとともに、地域資源の磨き上げやインバウンド人材の育成を行い、地域の活性化に結び付けていきたいと考えています。

事業の概要は、次に記載しています。

(*印の事業は現時点では実施は未確定であり、*印の無い事業も内容が変更される可能性がありますのでご承知ください。)

1. ゲートウェイ別の観光動態調査事業*

山陰へ訪れる外国人の実態把握のため、訪日時の国際ゲートウェイとして「せとうち」「関西」「首都圏」の外国人の動向を調査し、買い物の志向性や宿泊など、周遊行動を詳細に把握します。

2. デジタルマーケティング調査事業

SNSやウェブサイトなどを通じたデジタルマーケティング等により旅行者のニーズと実態を調査・分析します。

3. 体験コンテンツ開発によるグローバルWebサイト魅力度向上事業

当機構のグローバルWebサイトに、新たに体験コンテンツや、農山漁村滞在プラン、ギフト等、地域のビジネスに結び付けるような機能を付加し、Webサイトを通じ山陰地域の認知度・魅力度を向上させます。

4. 【ゲートウェイ戦略(1)】FIT周遊促進のためのデジタル化事業

山陰のインバウンド宿泊を底上げするために、中国エリアから関西エリアまでFITが広域に周遊しやすくなるようなツールを開発し、山陰への誘客につなげます。

5. 【ゲートウェイ戦略(2)】観光MaaSによる広域アクセス強化事業

広島空港に就航するシンガポール・タイとの定期利用者をターゲットとして、『広島空港から山陰までの交通アクセス・観光』の一体的な情報発信や、着地型観光商品の整備を行います。

6. 【ゲートウェイ戦略(3)】航空会社と連携した国内アクセス強化事業

主に欧米豪市場をターゲットに、中国・関西エリアにある地方空港の国内路線を活用して、周遊ルートのラインナップを拡充することにより山陰への誘客を図ります。

7. 【ゲートウェイ戦略(4)】FIT向けオーダーメイド型旅行商品の企画販売事業*

急増するFITを山陰に取り込む為に、関西や広島を目的とするアジア及び欧米豪からのインバウンドに向け地域ならではの希少価値の高い「簡易オーダー型手配旅行」の新たな仕組みを構築します。

8. 【ゲートウェイ戦略(5)】訪日客が集積するスポットからのゲートウェイ誘客強化事業*

首都圏や関西圏、せとうち圏域などの訪日客の集積するスポットでの案内や、山陰側の訪日客受け入れ拠点を組み合わせて活用し、山陰への誘客・周遊滞在可能な新たなFITマーケット創出を目指します。

9. 【事業者支援(1)】観光関連団体との共同による山陰コンテンツの磨き上げと海外での販路開拓事業*

旅行商品の販売促進に合わせて、既存コンテンツの改良や地域産品の販路開拓を行い、地域の活性化につなげます。

10. 【事業者支援(2)】インバウンドビジネスプレイヤー・マッチング事業

セミナー等により山陰全体の活性化に寄与できる観光地域づくりのプレイヤー（事業者等）の育成・養成を行います。また、プレイヤー同士の新たな連携型のビジネスモデル構築を支援します。

11. 【事業者支援(3)】地域課題解決プラットフォーム支援事業

市町村などのエリア毎の課題解決に対して、インバウンドによる地域の活性化の取り組みを支援します。

12. 【事業者支援(4)】農山漁村滞在観光地づくり支援事業

「農山漁村」エリアに新たな滞在地域を創出し、古民家等に加え域内の「体験」「交流」を組み合わせることにより消費を喚起します。

13. 【事業者支援(5)】クルーズ客による観光消費額拡大事業

クルーズ船で来訪する富裕層に対し山陰の伝統工芸品や潜在的な価値を有する特産品を紹介・販売するためのバスツアー等を企画し、限られた時間内での効果的な消費拡大を図ります。

14. 関西エリアから山陰エリアへの広域周遊促進のための訪日旅客向け観光素材造成と販売チャネルの構築支援事業*

JR西日本が主体となって鳥取県・島根県と連携し、関西から入国する訪日客が山陰を訪問するよう観光素材の整備と広域周遊ルートの造成を行います。あわせて、JR西日本のオンライン販売チャネルに、山陰エリアの着地素材を掲載することで、移動手段とセットで購入できる仕組みを構築します。

15. 【ゲートウェイ戦略(6)】首都圏在住ジャーナリストなどを活用した山陰の魅力開発事業*

首都圏在住の有力ジャーナリストなどを活用し、山陰エリアが有する海外向けの魅力的なコンテンツを開発するためのワークショップの開催等を行います。

1月中旬～4月上旬の事業結果

「松江のまちあるき意見交換会」開催

松江商工会議所田部会頭をファシリテーターとして松江のまちづくり、まちあるきについて松江商工会議所若手職員にご参加頂き意見交換会を行いました。機構の他圏域における地域課題解決の事例紹介の後、若手職員の方々から様々なご意見を伺いました。「水の都」の認知度向上策、早朝のしじみ漁や蟹（どう）行列の練習参加体験造成、松江市内中心部にある空いた蔵の有効活用策など活発な意見が飛び交いました。田部会頭からは、「松江は魅力あるコンテンツがあふれていながら有効活用されていない。どんどん若い方々から企画提案してほしい。」とのご意見を頂きました。

機構としてはインバウンドを通じた地域活性化、課題解決に対して、引き続き地域の方々と共に考えていくこととしています。日時：令和2年1月28日(火)14:00～16:00 場所：松江商工会議所

4月中旬以降の事業予定

現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等の開催予定はありませんが、開催が可能となり日程が決まりましたら、WEB等で情報提供させていただきます。

山陰インバウンド機構新入職員紹介

市場開発部 シニアマネージャー 名倉 俊雄

奈良県出身の名倉 俊雄と申します。出向元の近畿日本ツーリストでは店頭販売業務・国内ツアー型商品の企画造成・和歌山県の個人型企画商品の造成に携わってきました。国内ツアー型商品では北海道・東北・中四国・九州方面を担当しておりました。今回、山陰地区への初めての赴任ですが山陰地方にはたくさんの魅力ある自然・歴史・文化・食がありますのでウェブを通して世界に発信し多くの海外のお客様に山陰を訪れていただき周遊していただけるようにして、地域の経済の活性化につなげたいと思います。

マーケティング部 シニアマネージャー 松本 慶太

34年間勤務しております日本旅行では、主に団体の取扱を中心とした部署に所属しておりました。法人・教育旅行の他に団体旅行を目的とした企画商品の造成、宿泊仕入手配などの業務を担当しており、団体のインバウンドに関する内容以外は、ほぼ経験させていただいたと思います。インバウンドに携わることは全く初めてとなり、わからないことも数多くあると思いますが、新しいチャレンジとして邁進して行きたいと思っております。山陰（島根県松江市）は、私の『ふるさと』です。全世界から一人でも多くのお客様が山陰地方の魅力に触れ、訪れていただけるよう、努力して参りますので、よろしくお願いいたします。

観光関連統計等

山陰への訪日外国人宿泊者数※観光庁宿泊旅行統計調査（従業員10人未満の施設を含む）

期間	山陰への訪日外国人宿泊者数（鳥取/島根）	比較
2020年1月	16,620人泊（鳥取12,160人/島根4,460人）	前年同月比17.9%減
2019年1月	20,250人泊（鳥取14,820人/島根5,430人）	
日本全体の現状 2020年1月 （速報値）	9,702,700人 ※観光庁宿泊旅行統計調査 https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutouk-ei.html	前年同月比16.9%増加